

富士山よりも高い台湾最高峰

玉山

(3,952m)



▲台湾最高峰玉山

玉山は台湾五岳の代表格で台湾の最高峰です。日本統治時代には、明治天皇により富士山よりも高い「新しい日本最高峰」の意味で新高山と名づけられました。1泊2日の山小屋泊で登ることができます。山小屋には寝袋の備え付けがあり、食事も提供されるため、コンパクトな荷物での登山が可能です。山頂付近は岩稜帯となります。特別な登山技術は必要ありません。



玉山コースガイド

1日目
タタカ鞍部より山腹に入り山腹をゆるやかに登ります。あづまやを過ぎると、美しい森へと入ります。登山道はよく整備されており、断崖のトラバース箇所などには木道がつけられています。やがて玉山方面の展望が開け始め、立ち枯れた木々が立つ森を玉山に向かって歩けば排雲山荘です。

タタカ鞍部(2,610m)…排雲山荘(3,402m)
歩行時間:約6時間

2日目
未明、ヘッドライトを点けて登山開始。前半は木の階段を上がり、やがてガレ場をジグザグに登ります。岩場に取り付き、空が白みはじめた頃、風口と呼ばれる鞍部に出ます。北峰への稜線を左に見て、最後の急登を越えると山頂です。下山は排雲山荘経由で往路をタタカ鞍部へ戻ります。

排雲山荘(3,402m)…玉山山頂(3,952m)…
排雲山荘(3,402m)…タタカ鞍部(2,610m)
歩行時間:約7.5時間

新しくなった排雲山荘



排雲山荘は2013年の秋に改修工事が終わり再開されました。台湾の山小屋には珍しくスタッフが常駐し、寝袋など寝具も常備されています。夕食は中華風の定食で、未明の山頂アタックの前にはあたたかいお粥が提供されます。

整備された登山道を排雲山荘へ



ヘッドライトを点けて山頂へ



玉山山頂でご来光を望む



岩稜帯を慎重に下る



台湾の2大名山に登る!

台灣

台湾は九州と同程度の大きさの島国ですが、3,000m以上の山が200座以上もあります。登山人口が多く日本と同様に百名山があり、台湾百岳と呼ばれています。日本百名山とは違い全座踏破は困難ですが、玉山と雪山は日本の夏期の北アルプスと同じような感覚で登ることができます。親日的な台湾の人々との交流も登山中の楽しみのひとつです。

雪山は台湾第二峰で日本統治時代には台湾領有当時の日本最高峰・新高山の「次に高い山」の意味で次高山と命名されました。雪山には2泊3日の山小屋泊で登ります。山小屋はいずれも無人小屋となるため、ポーターの他にコックが同行します。雪山は稜線歩きが魅力で、尾根上に広がる草原や美しいニイタカトドマツの森など、変化に富んだ山旅を楽しめます。



雪山

(3,886m)



穏やかな登りをシチカ山荘へ



雪山東峰から雪山を望む



三六九山荘での夕食風景



台湾は温泉も有名



雪山コースガイド

1日目
武陵の管理事務所で受付を済ませ、林道のような山道をゆっくり登ると1時間ほどでシチカ山荘に到着します。
2日目
武陵(2,140m)…シチカ山荘(2,510m)
歩行時間:約1時間

早朝、樹林帯を登りはじめ、見晴らし台より急登に変わります。岩場を越え、雪山東峰へ。台湾冷杉(ニイタカトドマツ)の林を抜けた草原に三六九山荘があります。必要な荷物を置き、笹原を登って針葉樹林を抜けるとカールの底に出ます。シャクナゲシーズンはカール全体を覆うように咲き誇ります。左の山腹から稜線に取り付き、山頂に至ります。下山は往路を三六九山荘へ。
3日目
シチカ山荘(2,510m)…雪山(3,886m)…三六九山荘(3,200m) 歩行時間:約9時間

往路を武陵へ下山します。
4日目
三六九山荘(3,200m)…武陵(2,140m)

雪山カールに咲くシャクナゲ



雪山は5月にシャクナゲのシーズンを迎えます。雪山直下のカールを埋め尽くすように咲くシャクナゲは登山の疲れを癒してくれます。

